

平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第3学年

「児童の実態」…関心・意欲・態度、思考・表現、技能、知識・理解等から選んで実態をお書きください。

「指導のめあて」…実態に照らして、身に付けさせたい力を「指導のめあて」にしてください。

「具体的な授業改善の方法」…「指導のめあて」を達成させるための、具体的な授業改善の方法をお書きください。

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読書に対する関心・意欲が高い児童が多い。 ○国語辞典の引き方やどのような順番で単語が載っているのか理解に個人差がある。 ○漢字や言葉に対する知識・理解は、児童によって差がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書について、読書量のみでなくいろいろなジャンルの本に対する関心・意欲をもってもらえるようにする。 ○国語辞典の正しい使い方を理解し、活用していけるようにする。 ○文章を書くときに、習った漢字を用いて、正しく書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期に1回以上図書館の方に来ていただき、ブックトークで様々なジャンルの本を紹介してもらおう。また、担任も本の紹介を行う機会を設ける ○新出漢字や語句、意味のわからない言葉は国語辞典を使って調べさせ、辞書の使用に慣れさせる。 ○定期的に漢字テストを行う。また、作文を書く、推敲する機会を積極的に設ける。家庭と連携し、漢字が身に付くようにする。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの住んでいる文京区に関して、関心・意欲をもって学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、文京区について詳しくなるよう、見通しをもたせながら、計画的に学習を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「わたしたちの文京区」を活用して、文京区に関する詳しい学習を行っていく。 ○地域を実際に見る活動を積極的に取り入れる。 ○地図や写真を活用して調べる活動を通して、文京区の良さを見つけるようにする。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童は、地図や資料から必要な情報を読み取ることができているが、苦手な子も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図の見方や資料の読み取り方など基本的な力をつけ、課題に対する考察力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図から様々な情報を読み取る活動を繰り返し、必要な情報を読み取る力を養う。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○関心・意欲が高く、算数の学習に対して積極的に取り組む児童が多い。 ○文章問題から正しく立式できない児童がいる。 ○九九などの基本既習事項が身に付いていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の授業を通して、さらに意欲を高めながら、基礎基本が確実に身に付くよう、取り組ませていく。 ○文章問題の立式を正確にできるようにする。 ○日々の授業や宿題を通して、基本既習事項を継続的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の学習に関して、学年・算数専科と連絡を密にし、日々の学習の進め方について相談する。 ○文章で問われていることは何なのか、該当箇所にマーカーを引くなど明確にする。文章に出てきた数は何を表しているのかを確認してから立式させる。 ○授業の前に、フラッシュカード等で計算の復習を行う。 ○ベーシックドリルを活用する 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科より進歩した観察の仕方・学習に関心を持ち、積極的に取り組む姿が見られる。 ○昆虫などの生き物に関する興味・関心が高い児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の関心・意欲を高め、主体的に学習に取り組み、さらなる知識や理解を深める授業を構築する。 ○個別で調べ学習を行い、調べたことを発表し合う活動を通して、生き物に関する興味・関心知識をさらに高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入で児童が学習内容について疑問をもつような課題提示を行う。また次時の課題や疑問を導き出せるようにする。 ○体験・実験活動を大切に、実物に触れる機会を多く設定する。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの児童が、どの学習に対しても意欲的に参加している。 ○ボール投げや走る活動など、技能が低い児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、どの項目についても意欲的に取り組めるようにする。 ○自分の記録を伸ばし、今までよりも力を伸ばしていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テストの結果を生かし、朝のコーディネーション運動や持久走、体育の時間の運動で、日々継続して運動機能の向上に努めていく。体育ノートに自分のめあてを書かせ、めあての達成のために、個別 		

<p>○チーム競技では、仲間と協力して作戦を考えたり、練習したりする場面が多く見られたしかし、一部の児童が勝敗にこだわるあまり、対戦相手と言い争いをしたり、仲間の失敗を責めたりする場面が見られた。</p>	<p>○勝敗にこだわり過ぎることなく、仲間と協力し、認め合いながら、楽しんで運動を行う態度を育成する。</p>	<p>に助言を行う。 ○お互いにアドバイスをし合ったり、友達のよい動きを褒め合ったりする活動を行う。活動によっては、友達の動きをお手伝いする場を設ける。</p>		
--	---	--	--	--